

市長のあまねくつぶやき

総合戦略書について

今月も「働く場の拡大プロジェクト」についてつぶやきます。行方市内の産業は農業だけでなくさまざまなありますが、意外と観光資源に目を向けられていません。市民にとっては日常的な景色なのかも知れませんが、湖岸線が50キロメートルを超える地域は国内にはどこにも無いと思います。この湖岸を自転車で走る人たちが増えてきて、平坦で景色も素晴らしいと言われており人気のスポットになっています。さらに、行方市には1300年余の歴史があり、これらを生かした観光を推進することによって他地域と差別化できると思っています。

では、行方市に来てもらうにはどのような方法があるかという点、自動車か市外にある最寄りの駅でのタクシー利用に限られ、都心部の人たちにとって訪れにくい場所になっています。それでも行方市に来てもらうにはどのような方法があるかと考えると、まず、東関東自動車道の延伸が大きなポイントとなります。自動車でのアクセスが向上し、観光客だけでなく地場産業の活性化につながる企業の立地なども期待できます。しかしながら、開通までまだ時間を要するので、新たな広域交通ネットワークの活用

が必要になります。

5月21日から潮来・行方・鹿嶋の3市で広域連携路線バスの運行を開始しました。土浦・かすみがうら・行方の3市による霞ヶ浦広域バスの運行は始まりましたが、今回で2例目になります。このように交通アクセスを向上することによって交流人口を増加させてゆくことが可能となります。

ではなぜ、交通アクセスの向上と観光地化が働く場の拡大とどのようにつながるのでしょうか。例をあげるならば、隣接県のある高速道路インターそばに学校跡地を活用して道の駅ができました。入りこみ客数が増加したことで併せて地域特性を生かしたお土産品として直売場に出しています。それらがその地域で根付くとすれば働く場が生まれます。行方市においてもこれらの「ひと・もの・しごと」サイクルを増やして地域活性化を進めてゆきたいと思っています。

行方市長 鈴木周也



市長へのEメール
投稿用2次元コード



市政に対する意見や
提案をメールでお寄せください。

はい、こちら行方市消費生活センター！

夏の事故・トラブルに注意！

暑い夏の時期に起こりやすい事故やトラブルはさまざまなものがあります。楽しい夏を過ごすために事故防止のポイントを確認して、子供や高齢者をはじめ事故やトラブルに遭わないように十分に気を付けましょう。

【スプレー缶製品の事故事例】

子供が制汗消臭剤を手の甲に受け、その部分の皮膚が紫色に変わってしまった。病院に行ったところ、凍傷と診断され、痕が残ってしまった。

【ポイントの解説】

- ・人体に噴射して使用するスプレーは、商品に表示されている方法を守りましょう。
- ・子供が1人でスプレー缶製品等を使用しないように、使用しない時は誤噴射防止ロックを使用し、子供の手の届かないところに置きましょう。
- ・噴射する際は、噴射方向をよく確認しましょう。
- ・廃棄する際は中身を完全に使い切り、廃棄方法を守りましょう。

また、この時期に「花火」や「ライター」、「炎天下での自動車の車内」に関する事故が多く発生しています。利用上の注意事項などを必ず守り、保管場所や使用する際の約束事を各家庭においてもう一度見直しましょう。

— まずはお電話を！ —

【問い合わせ】行方市消費生活センター ☎0291-34-6446

